



中 日 新 聞

# 花園で健闘誓う

## 西陵高 ラグビー部主将ら来社

第八十六回全国高校ラグビー県大会で優勝した西陵高校(名古屋市西区)ラグビー部の山田和正監督と山森裕之主将、山本竜也副将が二十一日、岡田修校長とともに同市中区の中日新聞社を訪れ、全国大会での健闘を誓った。

同部は十八日の決勝戦で、得意のモール攻撃でトライを重ねるなど千種高校(同市名東区)を圧

倒。58―14で破って二年ぶり三十五回目の優勝を果たし、十二月二十七日から花園ラグビー場(東大阪市)で開かれる全国大会の切符を手にした。

初采配(さいはい)で県大会を制した山田監督は「選手たちは最後まで気を抜かず、勝負に徹してくれた」と決勝戦を振り返り、全国大会に向けて「県代表としての期待を背負って臨みたい」と

全国大会での健闘を誓う西陵高ラグビー部の山森裕之主将(手前右)ら。中日新聞社で



抱負を述べた。

今年のチームは三年生が率先して練習に取り組み、下級生を引っ張るのが特徴。その先頭に立つ山森主将と山本副将は

「夢見てきた場所に立つことができる。悔いの残らないようチーム全員で思い切りプレーしたい」と意気込んだ。

(伊藤智英)



